

平成 28 年度 社会教育事業の実績

I いのちの教育の基礎となる家庭教育と乳幼児期の教育を支援する

1 家庭教育支援の充実

(1) 家庭教育推進事業

子どもの「生きる力」につながる資質や能力を培う上で、重要な役割を担う家庭教育を充実させるために、家庭教育を支援する以下の施策を実施した。

① 県家庭教育支援検討部会の設置

ア 県家庭教育支援検討部会

- ・ 11 名の委員を委嘱し、家庭教育の充実と家庭教育支援を推進する事業等の方策について検討した。（※ 委員には関係課 2 課を含む）
- ・ 第 1 回山形県家庭教育支援部会 6 / 10（金）13:30～15:30 県庁 1002 会議室（11 名中 10 名が参加）
- ・ 第 2 回山形県家庭教育支援部会 2 / 20（月）13:30～15:30 県庁 1002 会議室（予定）

イ 県家庭教育アドバイザーの委嘱

- ・ 31 名の県家庭教育アドバイザーを委嘱し、教育事務所ごとに実施する家庭教育出前講座や「やまがた子育て講座」等の講師等を務めていただいた。
- ・ 31 名（村山 14 最上 5 置賜 7 庄内 5）新規 4 名
- ・ 各地区 1 回 県家庭教育アドバイザー打合せ会議の開催

② 家庭教育の啓発・相談活動 家庭教育電話相談「ふれあいほっとライン」の開設

家庭教育や子育てに不安や悩みを持つ親等からの相談に応じるため、電話等による相談を実施した。

- ・ 相談件数 315 件：1 月現在（昨年同期件 300 件）
- ・ 広報カード：新小中 1 年生と乳幼児健診分
- ・ 市町村広報紙掲載依頼：5 月（1 回）

③ やまがた子育て講座（国補助事業）

家庭教育に関する学習機会等の充実を図るために市町村と連携し、主に小学生を持つ親に対する家庭教育にかかわる学習機会を提供した。

今年度は 30 市町村 193 箇所で開催（予定を含む）（昨年 30 市町村 175 箇所）。講話だけでなく、グループワークや座談会等、参加者が主体となる講座実施を推進した。

・ 村山：11 市町村 49 箇所

上市市(4 小学校)、天童市(1 小学校・1 放課後児童クラブ)、中山町(2 小学校・1 中学校)
寒河江市(10 小学校・3 中学校)、河北町(6 小学校・1 中学校)、西川町(1 小学校・1 中学校)
朝日町(3 小学校・1 中学校)、大江町(2 小学校)、村山市(2 子育て支援拠点)
尾花沢市(6 小学校・3 中学校)、大石田町(1 中学校)

・ 最上：6 市町村 30 箇所

新庄市(5 小学校・4 中学校)、金山町(3 小学校・1 中学校・1 公民館)、最上町(6 小学校)
舟形町(1 小学校・1 中学校・1 公民館)、真室川町(1 小学校・1 中学校・1 公民館)
戸沢村(1 小学校・1 中学校)

- ・置賜：8市町村 65箇所
米沢市(18小学校・8中学校)、長井市(6小学校・2中学校)、南陽市(1児童館・1社教企画)
高畠町(6小学校・1中学校)、川西町(8小学校・1中学校)、小国町(2小学校・1中学校)
白鷹町(4小学校・1中学校)、飯豊町(4小学校・1中学校)
- ・庄内：5市町村 49箇所
鶴岡市(13小学校・2中学校)、庄内町(5小学校・2中学校)、三川町(3小学校・1中学校)
酒田市(17小学校)、遊佐町(5小学校・1中学校)

④ 家庭教育出前講座（国補助事業）

多忙のため家庭教育の学習機会に参加できない親等に対応するため、講師が事業所等に出向いて、仕事と子育てや家庭教育の大切さなどについての講座を行い、理解と認識を深めた。

- ・10箇所程度予定【国補助】（村山3 最上2 置賜2 庄内3）
- ・村山：山形市：山形市高校生をもつ親の会（9/2）
寒河江市：日東ベスト株式会社（11/17）
山形市：ジョイングループ（2/6）
中山町：三和缶詰(株)（2/21）
- ・最上：真室川町：真室川サポート企業組合（8/12）
鮭川村：(有)熊谷園芸（10/20）
大蔵村：大蔵村職員労働組合（12/14）
- ・置賜：米沢市：米沢ヤクルト販売株式会社(11/21)
高畠町：高畠ロータリークラブ（2/23）
- ・庄内：遊佐町：順仁堂遊佐病院（4/26）
庄内町：株式会社エフ・ワン（9/29）
鶴岡市：山形日産自動車販売労組（11/15）

⑤ 家庭教育支援フォーラム（国補助事業）

身近な地域における家庭教育支援体制の充実を図るために、家庭教育支援者の研修及び情報交換等を県内4地区で実施した。

- ・村山：①「子どもの“育ち”を引き出すために」5/11（水）
グループワーク コーディネータ：金澤和子氏
②「子どもに生きる力を～今こそ人間関係の早期教育を～」9/14（水）
講演 講師：榎本博明氏（MP人間科学研究所長）
- ・最上：①「学校・家庭・地域をつなぎ、コーディネートするために」6/7（火）
グループ演習 講師：金澤和子氏（共催：最上地区家庭教育推進協議会）
②「知性を育てる食育」9/3（土）
講演 講師：宮島則子氏（食育アドバイザー）（共催：最上地区PTA協議会）
- ・置賜：①「今こそ『眠育』！！眠りがつくる体・心・脳」9/28（水）
講演 講師：渋谷るみ氏（県立こころの医療センター）
- ・庄内：①「子どもの生活リズムと睡眠～今こそ『眠育』！脳・心・体は眠りで作られる～」11/22（火）
講演 講師：渋谷るみ氏（県立こころの医療センター）
②「みんなで育てよう！おらほの宝！」
～「地域ぐるみの子育て」を考える～ 12/1（木）
ワークショップ コーディネータ：武田真理子氏（東北公益文科大学）

(2) 幼児共育の推進（国補助事業）

「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して幼児期の子どもを育む『幼児共育』を推進するために、三者の連携による親子のふれあいを大切にしながら様々な体験活動等を

提供した。

今年度は、28 市町村 148 箇所予定で実施を予定しており（昨年 28 市町村 147 箇所）、地域や自然とのかかわりを大切にしながら様々な親子の体験活動の実施を推進した。

- ・村山：9 市町村 27 箇所
上山市（2 保育所・1 子どもセンター）、中山町（2 幼稚園・1 保育所）、寒河江市（7 保育所）
河北町（1 幼稚園・1 認定子ども園）、西川町（1 保育所）、朝日町（1 保育所）、
村山市（2 子育て支援拠点）、尾花沢市（1 幼稚園・6 保育所）、大石田町（1 公民館）
- ・最上：6 市町村 21 箇所
新庄市（2 幼稚園・5 保育所・2 その他）、金山町（1 保育所・1 その他）、最上町（1 保育所）
舟形町（1 保育所）、真室川町（5 保育所）、大蔵村（3 保育所）
- ・置賜：8 市町村 36 箇所
米沢市（5 幼稚園・4 保育所）、長井市（2 児童センター）、小国町（1 社教課企画）
南陽市（1 幼稚園・1 児童館・1 社教企画）、白鷹町（4 保育所）
高畠町（5 幼稚園・1 保育所・1 こども園・1 認可外園）、川西町（2 幼稚園・2 保育園）
飯豊町（1 幼稚園・1 保育所・1 こども園幼児部、1 乳児部、1 児童センター）
- ・庄内：5 市町村 64 箇所
鶴岡市（3 幼稚園・20 保育所・4 その他）、庄内町（5 幼稚園・4 保育所・1 公民館）
三川町（1 幼稚園）、酒田市（3 幼稚園・12 保育所・8 公民館）、遊佐町（3 保育所）

（3）見守りによる家庭学習習慣づくり（市町村補助事業）

地域の方々による家庭教育支援に向けて、「家庭での学習支援」を一つのテーマとし、地域の実情に応じて、地域の方々による家庭教育相談室の開設や、地域の方々への家庭教育の学習機会の提供等を行った。

- ・大石田町（3 小学校）（講演会を実施・地域の方や放課後関係者にも参加案内）
- ・新庄市（1 小学校・2 中学校）（地域の方による相談室開催）
- ・長井市（2 小学校）（元教員・小児科医による相談室開催）

（4）家庭学習習慣づくり親子体験塾

地域の方々による家庭教育支援に向けて、「家庭での学習支援」を一つのテーマとし、地域の実情に応じて、地域の方々による家庭教育相談室の開設や、地域の方々への家庭教育の学習機会の提供等を行った。

① 家庭学習習慣づくり親子体験塾「親子遊学塾」の実施状況 遊佐編

- ・期 日：7 月 28 日（木）～30 日（土）会場：海浜自然の家（遊佐町）
- ・参加者：県内小学 3 年 10 名 4 年 7 名 計 17 名
（上山 2 天童 2 村山 1 尾花沢 3 新庄 1 最上 1 鶴岡 2 庄内 2 酒田 2 遊佐 1）
保護者 15 名 地域コーディネーター 2 名
- ・主な内容：＜1 日目＞出会いのつどい（アイスブレイク等）、磯遊び（釜磯海岸）
野外炊飯（カレーライス）振り返り
＜2 日目＞朝学習、カヌー（吹浦漁港）、塩づくり（海洋環境学習）
野外炊飯（野生食→塩づくりの塩を一部活用）振り返り
＜3 日目＞朝学習、親子オリエンテーリング（施設周辺）、振り返り
別れのつどい（児童の感想発表等）

＜保護者&地域コーディネーター研修会＞

- ・演題「親の役割を考えよう ～育つ力を信じて～
講師 加藤真知子氏（山形県家庭教育アドバイザー）
- ・地域コーディネーター情報交換会

② 家庭学習習慣づくり親子体験塾「親子遊学塾」の実施状況 天童編

- ・期 日：8 月 4 日（木）～6 日（土）会場：県青年の家（天童市）

- ・参加者：県内小学3年1名 4年生2名・5年生3名・6年生2名 計8名
(山形1 天童2 山辺2 河北1 村山1 東根1)
保護者7名 地域コーディネーター4名

- ・主な内容：<1日目> 出会いのつどい (アイスブレイク等)
科学実験教室「目に見えないものをとらえる」
(講師 佐藤まり子氏 (サイエンスビゲータ))
ものづくり教室 「スピーカーづくり」
事前学習 タブレットPC活用「じゃがらがらって？」
振り返り

- <2日目> 朝学習
ジャガラモガラ遠足 路線バス利用 徒歩 (約12km)
じゃがらがらの案内 佐藤定四郎 氏
補助 鈴木陽香氏 (山形大学) 佐藤成美氏 (東北芸工大)
創作紙芝居の実演 「じゃがらがら」村形啓行 氏
仲間との絆を深めるゲーム、振り返り

- <3日目> 朝学習
新聞紙を用いた親子学習
講師 山形新聞社報道部副部長 石井秀明氏
振り返り
別れのつどい (児童の感想発表等)

<保護者&地域コーディネーター研修会>

- ・講演「豊かな体験から自立へ」講師 金澤和子氏 (山形県家庭教育アドバイザー)
- ・地域コーディネーター情報交換会

(5) 読育推進ネットワーク整備事業

子どもの健全な心身の発達を促し、本好きな子どもを育むために、乳幼児期からの「絵本の読み聞かせ」の普及・啓発を図り、家庭における「読育(どくいく)」を推進するために、以下の施策を実施した。

① 読育推進ネットワーク研修会 (4地区)

乳幼児期からの「絵本の読み聞かせ」を普及啓発するために、子供の読書活動の推進にかかわる関係者の研修及び情報交換等を県内4地区で実施した。

村山：12/16 (金) 最上：11/9 (水)

置賜：7/14 (木) 庄内：6/22 (水)

② 読育推進連携講座：「動物園での読み聞かせ会」の開催

子どもの豊かな心をはぐくむために、自然科学や歴史等と読み聞かせを組み合わせた魅力的な読み聞かせ講座を市町村と連携して実施した。

10/23 (日) 「読み聞かせ会と動物ふれあい体験」

【参加者数】：午前の部 (幼児と小学1・2年対象) 61名 (子ども37、大人24)

午後の部 (幼児と小学1・2年対象) 29名 (子ども18、大人11)

③ 第3次山形県子ども読書活動推進計画の策定

義務教育課と連携して、第3次山形県子ども読書活動推進計画を策定

(6) 子どもの生活リズム向上山形県フォーラム

子どもの生活リズム向上に向け、子どもの生活リズム向上山形県フォーラム実行委員会を組織し、「子どもゆめ基金」～平成28年度地域ぐるみで「体験の風を起こそう」運動推進事業の助成を受けて、このフォーラムを実施した。

この事業は、「やまがた教育の日」の主要事業としての実施であり、例年7月に行ってきた県PTA指導者研修会も兼ねて行ったため参加者も多く、講演内容もインパクトが

あり、好評だった。今後、家庭教育支援における主要事業として期待できるものだった。

- ① 期 日：平成 28 年 11 月 12 日（土） やまがた教育の日
- ② 場 所：山形県生涯学習センター「遊学館」ホール
- ③ 参加人数：子どもを持つ親、学校関係者等 約 270 名
- ④ 主 催：子どもの生活リズム向上山形県フォーラム実行委員会
- ⑤ 内 容：講演会「常識を破れば子どもは伸びる
～生活や学習習慣から伸びる子どもの姿～」
講師 陰山英男 氏（立命館大学教授）
事例発表・パネル展 ※PTA指導者研修会を同時開催。

Ⅱ 子どもと大人の「まなび」や社会力を高めるかかわりの充実を図る

1 少年期の教育の充実

(1) 学校・家庭・地域の連携協働推進事業「放課後子ども総合プランの推進」

- ① 放課後等支援検討部会の開催
県事業内容の検討及び市町村事業への支援・検証方策等について協議
第1回 6/3（金） 第2回 2/21（火）
- ② 地域コーディネーター研修会の開催
 - ア 地域学校協働活動研修会（文生課） 9/9（金） 遊学館
※（兼）学校地域本部コーディネーター研修会
 - ・ 全体会
（講演）「学校・家庭・地域をつなぐ！～地域コーディネーターへの期待～」
（講師）織畑 研 氏
（特定非営利活動法人「放課後NPOアフタースクール副代表」）
参加者 94 名
 - ・ 分科会 A 幼少期・学童期における感動体験と自立について
参加者 17 名
B 放課後子ども総合プランにおける一体型の取組みについて
参加者 38 名
C 大学生や教員OBなどの地域住民による「学習支援」について
参加者 31 名
 - イ コーディネーター及び家庭教育支援員研修会
 - ・ 保護者及び地域コーディネーター研修会 7/30（土） 海浜自然の家
※家庭学習習慣づくり親子体験塾「親子遊学塾」と同時開催
全体会 県主催「家庭学習習慣づくり親子体験塾」の視察
分科会 講 演 「親の役割を考えよう ～育つ力を信じて～」
講 師 加藤真知子 氏（山形県社会教育アドバイザー）
参加者 保護者 15 名 コーディネーター 2 名
 - ・ 保護者及び地域コーディネーター研修会 8/6（土） 県青年の家
※家庭学習習慣づくり親子体験塾「親子遊学塾」と同時開催
全体会 県主催「家庭学習習慣づくり親子体験塾」の視察
分科会 講 演 「豊かな体験から自立へ」
講 師 金澤和子 氏（山形県社会教育アドバイザー）
参加者 保護者 7 名 コーディネーター等 4 名

③ 指導者研修会の開催（教育事務所）

ア 村山地区：6/14 東根市民体育館 あそびあランド 参加者195名
講師：石井 勝 氏（仲間作りに役立つレクリエーション）
明日美幸 氏（室内でできる楽しい工作）
鈴木秀伸 氏（自然散策とあそび）
村山恵子 氏（野外での活動と安全管理）

9/14 遊学館ホール 講演 参加者267名
講師：榎本博明 氏（MP人間科学研究所所長）
演題：「子どもに生きる力を」

イ 最上地区：6/16 最上総合支庁 事例発表 情報交換
事例発表 鮭川村放課後子ども教室 萩野放課後児童クラブ
情報交換 講師による全体指導
講師：安藤耕己 氏（山形大学准教授 県社会教育連絡協議会会長）
参加者42名
10/13 最上総合支庁 講演 演習 個別相談
講師：花輪敏男 氏（FR教育臨床研究所所長）
演題：「気になる子どもの理解と支援」
参加者43名
12/15 最上広域交流センター「ゆめりあ」講演
講師：松田恵示 氏（東京学芸大学教授）
演題：「体験・遊びと子どもの成長」「大人の関わり方・役割」
参加者27名

ウ 置賜地区：4/26 南陽市赤湯公民館「えくぼプラザ」 講演
講師：大河原美似 氏（東京学芸大学教授）
演題：「きれいな子、パニックになる子への理解と支援のあり方」
参加者160名
1/25 高畠町文化ホール「まほら」 講演
講師：増山均 氏（早稲田大学文学学術院教授）
参加者94名

エ 庄内地区：7/15 三川町公民館 講演・演習
講師：武田信子 氏（武蔵大学人文学部教授）
演題：「子どもの遊びを支援する」プレイヤーとしての役割
参加者169名
10/4 三川町公民館 三川町社会福祉センター 実技研修
演題：「今から使える！活動プログラムセミナー」
講師：五十嵐有紀子 氏（子どもも夢中になるトランスパレント）
金峰少年自然の家（自然体験あそび・仲間づくりゲーム）
NPO法人明日のたね（作って楽しい石けん粘土）
三浦洋介 氏（みんなで楽しめるレクリエーション）
本間英博 氏（防災対策について＜地震対応＞）
参加者138名
11/24 三川町公民館 講演
講師：花輪敏男 氏（FR教育臨床研究所所長）
演題：「気になる子がわかる！変わる！かかわり方」
参加者176名

④ 市町村補助事業の実施

- ア 運営委員会・学区毎の協議会（一体型）の設置
 - ・運営委員会は全市町村（実施市町村）に設置
- イ コーディネーターの配置：全市町村（実施市町村）に配置（行政担当者含む）
- ウ 放課後子ども教室の実施：32市町村 110箇所（H27：33市町村 107箇所）
 - ※土曜学習型 9市町村 36箇所 ※平日開催型 23市町村 74箇所
- エ 放課後児童クラブの実施（子育て支援課主管）
 - ・申請 34市町村 296箇所の設置（H27：34市町村 284箇所）
- オ 一体型（同じ建物もしくは同じ敷地内で教室とクラブを開設）
 - ・5市町村 7小学校市町村補助事業の実施

(2) 平成28年度学校・家庭・地域の連携協働推進事業「学校支援地域本部の普及」

地域住民の積極的な学校支援ボランティア活動を通じて学校と地域の連携体制の構築を図り、学校の教育活動を充実させるとともに、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図るために、学校支援地域本部の設置を推進した。

- ① 県検討部会の開催（文生課） 6/17 2/24
県事業（コーディネーター研修会）の検討及び市町村事業への支援・検証方策等についての協議
- ② コーディネーター合同研修会（文生課） 9/9（金） 遊学館—予定（再掲）
- ③ 市町村補助事業の実施
 - ア 実行委員会の設置 ※1本部→(兼)地域教育協議会
 - イ 学校支援地域本部の設置 小学校区や中学校区、又は市町村域を対象
 - ウ 21市町村 77本部、対象校 100校（※昨年 21市町村 68本部、対象校 100校）
 - ・地域教育協議会の開催
 - ・地域コーディネーターの配置
 - ・学校支援ボランティア活動
主な内容：キャリア教育、環境整備、読書活動、クラブ
総合学習（伝統文化、自然、IT、環境等）
 - エ 地域未来塾（放課後等の学習支援）
 - ・8市町村 2小学校 12中学校

(3) 伝統芸能育成事業「子ども伝承活動 ふるさと塾」

子どもの郷土愛の醸成、地域コミュニティの活性化、地域文化の保存・伝承を通じて、子どもの社会力の育成を目指し、親から子、子から孫の代へ「ふるさと山形」のよき生活文化や知恵、伝統芸能などを教え合い、学び合いながら、伝承していく活動を推進するため、以下の施策を実施した。

- ① 指導者研修会及び出前講座
村山地区、最上地区、置賜地区、庄内地区で指導者研修会と出前講座を実施
 - ・村山地区（指導者研修会(5) 出前講座(11)）
 - ・最上地区（指導者研修会(0) 出前講座(82)）
 - ・置賜地区（指導者研修会(1) 出前講座(27)）
 - ・庄内地区（指導者研修会(0) 出前講座(47)）
- ② 日本一さくらんぼ祭り「ふるさと芸能のつどい」
 - ・6月18日（土）七日町～本町の路上の2か所にて13団体の舞台発表
（※ 子ども8団体、大人5団体）
- ③ その他
 - ア 市町村総合交付金の活用（34市町村）

- イ 賛同団体の集約（現在（295）団体）（昨年度同時期（288））
- ウ ふるさと塾アーカイブス取材候補団体の取材・編集進行中
（映像確認・団体紹介文の作成・承諾書の提出を随時依頼）
- エ 他事業との関連：各地区民俗芸能懇話会の立ち上げ

（4）やまがた・ふくしま少年少女交流事業

山形県少年自然の家において、山形県内の児童・生徒と福島県内の児童・生徒が交流し、隣県民の友情を育み、「人と人がつながる力」を育成する。

- ① 主管：山形県立少年自然の家
- ② 後援：福島県教育委員会、相馬市教育委員会、南相馬市教育委員会
- ③ 参加費 3,000円程度（食費実費）
- ④ 福島県からの送迎は貸切バスを利用。活動地への移動は少年自然の家バスを利用。
- ⑤ 日程・場所（年4回の開催）

ア 里の体験 6月17日（金）～19日（日）山形県朝日少年自然の家
福島小学生29名 福島中学生1名 山形小学生22名
山形高校生ボランティア10名 計62名

プログラム概要

- <6月17日> ○出会いのつどい ○オリエンテーション
- <6月18日> ○カヌー教室 ○フリスビーゴルフ ○自然の冒険
○プラネタリウム ○ナイトハイク
- <6月19日> ○さくらんぼ狩り・ゲーム ○別れのつどい

イ 島の体験 7月1日（金）～3日（日）※当日荒天のため飛島への渡航不可
山形県金峰少年自然の家分館海浜自然の家
参加者：福島小学生20名 山形小学生20名
高校生サポーター13名 一般ボランティア5名 計58名

プログラム概要

- <7月1日> ○福島小学生 海浜自然の家到着 ○オリエンテーション
- <7月2日> ○出会いのつどい ○磯遊び ○カヌー体験
○海岸清掃 ○野外炊飯 ○シュラフ作り ○環境学習講義
- <7月3日> ○振り返り
○鳥海山元滝散策 ○別れのつどい

ウ 森の体験 10月21日（金）～23日（日）山形県神室少年自然の家
参加者：福島小学生4名 山形小学生16名
高校生サポーター6名 一般ボランティア5名 計31名

プログラム概要

- <10月21日> ○出会いのつどい ○オリエンテーション
- <10月22日> ○薬師山散策 ○芋煮会 ○野外炊飯 ○キャンプファイヤー
- <10月23日> ○クラフト作り ○別れのつどい

エ 雪の体験 1月13日（金）～15日（日）山形県飯豊少年自然の家
参加者：福島県小学1年～3年生の親子39名 山形小学生9名
高校生サポーター16名 一般ボランティア7名 計71名

プログラム概要

- <1月13日> ○福島県参加者 自然の家到着 ○オリエンテーション
- <1月14日> ○出会いのつどい ○スノーチューブ滑り ○クラフト作り
○アイスクリーム作り ○ドラム缶風呂
- <1月15日> ○スノーハイキング ○そば打ち体験 ○振り返り
○別れのつどい

2 青年期の教育の充実

(1) 地域青少年ボランティア活動推進事業

「山形方式」と呼ばれる地域青少年ボランティア活動の推進のため、中央センターと四つの地区センターを設置して、情報の収集・提供や研修・交流機会の拡充を図った。

① 中央センター事業

ア 山形県地域青少年ボランティア推進会議 第1回 5/12 第2回 3/6 予定

イ Y Yボランティアビューロー

- ・サークル活動調査 (6月, 12月)

<6/1 現在>活動中のサークル数 67、会員 1,122 名 (中学生 226、高校生 507)
(昨年度同時期 サークル数 68、会員 987 名 (135 名増 大学生・中学生増))

- ・ホームページによる情報発信

- ・季節ごとの体験ボランティア

<夏の体験ボランティア> 7月~9月 35市町村 131企画 (昨年比+1)

<冬の体験ボランティア> 12月~2月 35市町村 67企画 (昨年比-5)

- ・Y Yボランティアに関する出前講座: 12箇所 受講者計 713名

- ・全日制高校生3年生のボランティア活動実態調査

(9月中旬配布→11月初旬回収→12月下旬集計)

ウ 関連事業 (青年の家主催事業)

- ・Y Yボランティアの集い (全県規模の交流と、活動意欲の向上)

高校生・中学生等 42名 12月10日(土)~11日(日) 1泊2日

活動事例発表会、交流会、ワークショップ等、交流に資する活動

- ・地域ボランティア講座 (Y Yボランティアサークル及び会員の増加)

7月3日(日) 飯豊町 43名、11月19日(土) 西川町 10名

福祉・保育・観光等の地域活動実践事例紹介、ボランティアに関するワークショップ

- ・ボランティア実技研修会 (ボランティア活動に役立つ技能の習得)

中学生・高校生等 31名 9月3日(土)

意欲向上に資する講義と技能向上に資する実技講習

- ・ボランティア関係者研修会 (地域青少年ボランティア支援者の支援力の向上)

ボランティア指導者・担当者 26名 6月2日(木)

青少年ボランティア活動支援に係る講義、ワークショップ等

② 地区センター事業

ア 地区地域青少年ボランティア推進会議: サークル担当者との連絡調整・情報交換。年2回。

イ 中学生ボランティアリーダーセミナー

ボランティア活動の意義や楽しさを学ぶ研修 (実習や講話、ワークショップ等)

<村山> 県青年の家 8/2(火)~8/3(水) ※1泊2日

<最上> 神室少年自然の家 8/9(火)~8/10(水) ※1泊2日

<置賜> 飯豊少年自然の家 8/9(火)~8/10(水) ※1泊2日

<庄内> 金峰少年自然の家 8/9(火)~8/10(水) ※1泊2日

地区	村 山	最 上	置 賜	庄 内
期日	8/2(火)~3(水)	8/9(火)~8/10(水)	8/9(火)~8/10(水)	8/9(火)~8/10(水)
参加者	93名	49名	28名	35名
場所	県青年の家	神室少年自然の家	飯豊少年自然の家	金峰少年自然の家
内容	アイスブレイキング、講義、 企画演習、施設訪問実習	アイスブレイキング、講話、 高齢者施設訪問、 地域活動団体との交流	アイスブレイキング、 企画演習、実技講座、 施設訪問実習	アイスブレイキング、講話 実技講座、企画演習 施設訪問実習

ウ Y Y ボランティアサークル交流会

サークル会員を対象に会員間の交流とスキルアップを図る

地区	村 山	最 上	置 賜	庄 内
期日	6/25(土)	2/4(土)	12/18(土)	2/5(日)
参加者	17 名	100 名 (予定)	12 名	6 名 (予定)
場所	村山市甌葉プラザ	新庄駅ゆめりあ	南陽市沖郷公民館	酒田市総合文化センター
内容	アイスブレイキング、 花笠踊り講座、調理実習、 講座、グループワーク	アイスブレイキング、 サークル活動内容共有、 だがしや楽校	アイスブレイキング、 学生による地域活動紹介、 造形ワークショップ	アイスブレイク技能講習、 コミュニケーション講座 活動紹介

(2) 青年による持続可能な地域づくり推進事業

① 事業趣旨

高校生が卒業後スムーズに地域活動に加わることができるように、地域活動に取組む若者（青年・大学生等）と高校生がともに地域課題について考え学びあう。

② 事業概要

組 織：地域活動を実践している若者 26 名

4 教育事務所に実行委員会を編成し、高校生との学びの場（高校生ワークショップ）を企画運営する

③ 内 容

ア 県実行委員会

- ・第 1 回県実行委員会：地域課題に関する学び、地域活動の事例共有 等

日時：7/10（日）

場所：県青年の家

内容：アイスブレイキングゲーム

事業概要説明(事業概要の説明、事業の進め方)

講演「社会の無関心を打破する ～困りごとを共有社会に～」

株式会社 Ridilover 代表 安部敏樹 氏

グループディスカッション（地区別）

高校生ワークショップのアイデア出し

- ・第 2 回県実行委員会

日時：2/19（日）予定

場所：県青年の家

内容：事業の振り返り、成果の共有

青年団体の活動事例提供

NPO なかだ倶楽部 栗田伸一 氏

天童アートロードプロジェクト 石澤恵里 氏

意見交換

イ 地区実行委員会 4 地区で高校生ワークショップの企画について検討。

- ・村山地区 9/29, 10/11, 1/10, 2/7 (4 回)
- ・最上地区 6/1, 8/31, 10/4, 11/1, 12/5, 1/20 (6 回)
- ・置賜地区 9/1, 9/13, 11/1, 11/1, 11/14, 12/29 (5 回)
- ・庄内地区 9/2, 10/13, 11/10, 12/8, 1/6 (5 回)

ウ 高校生ワークショップ

- ・村山地区 1/15 天童中部公民館 高校生 29 名

1/22 村山市甌葉プラザ 高校生 11 名

事例発表 大石田にぎりばっと部（大石田町），あづまり EXPO 実行委員

調理実習 にぎりばっと

意見交流

- ・最上地区 12/11 新庄駅ゆめりあ 高校生 25 名
事例発表 角川元気プロジェクト（戸沢村），加藤商事（新庄市），
地域おこし協力隊（真室川町），縄文炎祭実行委員（舟形町）
意見交流
- ・置賜地区 11/20 山形鉄道電車内 高校生 19 名
事例発表 白鷹太鼓「鷹翔会」（白鷹町），べにばなレジェンド（長井市）
かわにし塾わけしゅ（川西町），HOPE（南陽市）
意見交流
- ・庄内地区 12/18 県立酒田光陵高校 高校生 35 名
意見交流 地域おこし協力隊（遊佐町）東北公益大路地裏芸人's（酒田市）
日本西海岸計画，やまがた多職種連携学生ネットワーク
酒田おもてなし隊（酒田市），四面楚歌
1/11, 18, 26 県立庄内総合高校 高校生 71 名（2 年生全員）
庄内町のお土産CMづくり 講師：三浦宗平 氏

（3）青少年環境教育事業（飛島を舞台とした青少年の自立を促す環境教育事業）

フリースクール等に通う中学生や高校生を対象とし、飛島を舞台に海岸漂着物等を題材にした体験型環境教育プログラムを開発・実践することで、就学・就労への意欲を育むとともに、海岸漂着物問題に対する関心を高め、積極的にその問題に自ら取り組める人材の育成を図る。

① 事業の内容

- ア 青少年の自立のための個に応じた体験型プログラムの開発
- イ 飛島を教材とした宿泊型・体験型の環境学習の実施
- ウ 宿泊型・体験型の環境プログラムの有効性の検証

② 日程：平成 28 年 8 月 9 日（火）～10 日（水） 1 泊 2 日

活動場所：飛島 宿泊場所：沢口旅館（飛島） 参加費：3, 800 円／人
 主な交通手段：米沢発着の貸切バス および 定期船とびしま
 ※飛島への渡航ができなかった場合の活動場所及び宿泊地
 活動場所：遊佐町の海岸及び海浜自然の家 宿泊地：海浜自然の家

③ 実施結果

- ア 参加者：フリースクールに通う中・高校生等 13 名 引率指導者 5 名
- イ 当日、高波のため定期船「とびしま」が欠航になり、海浜自然の家での活動となった。
海ごみ勉強会、海岸クリーンアップ活動、海洋活動（海釣り・海水浴 等）

3 成人期の教育の推進 4 高齢期の教育の推進

（1）成人期・高齢期教育担当者研修事業

（学びと協働による地域コミュニティ活性化事業・社会教育職員研修）

成人期・高齢期における豊かで活力ある地域社会を形成するため、市町村の研修会等の現状を調査するとともに、よりよい生涯学習の機会と場を提供できるよう以下の研修会を実施した。

① 成人期・高齢期教育領域における市町村の推移・現状（社会教育事業等）

事業年度	成人一般	高齢者
H 2 5	783 142, 369	148 30, 508
H 2 6	1, 212 270, 770	212 35, 426
H 2 7	1, 355 310, 942	225 37, 197

上段：事業数
下段：参加者数

② 指導者研修会の開催

- ・ 県生涯学習センターにおいて「高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業」「シニア地域実践活動支援事業」「山形学推進事業」等を実施
- ・ 次年度、県生涯学習振興室において、退職予定の教職員を対象とした「地域コーディネーター等人材発掘」のための研修会を開催予定

Ⅲ「地域」とつながることで、子どもと大人の社会力を高め、地域の教育力の向上を図る

1 地域との連携協力の推進

(1) 学校・家庭・地域の連携協働推進事業

① 県推進本部の設置（文生課） 3月8日会議予定

県の事業連携の在り方や県全体の推進体制を計画・検証するとともに、企業等の関係機関へのPRを行う。

ア 学校支援検討部会：6/17・2/24（再掲）

イ 放課後等支援検討部会：6/3・2/21（再掲）

ウ 家庭教育支援部会：6/10・2/20（再掲）

② 連携協働サポートチームの設置

ア 教育事務所を中心に市町村推進協議会の立上げサポート

市町村の実態を調査すると共に、総合的な教育支援体制を構築し、運営組織の見直し、他部局との連携を図る組織作りを支援する。

イ 有識者、統括コーディネーター、社会教育主事等でサポートチームを組織し、市町村の訪問や研修会等を通し、優れた実践の普及啓発を図り、市町村の教育プラットフォームの構築と総合的な地域本部の設置を推進する。

・ 村山地区：11/9 村山総合支庁西庁舎講堂 参加者44名

事例発表：西川町教育委員会 主幹兼指導主事 丹野宏紀 氏

・ 最上地区：11/29 最上総合支庁講堂 参加者17名

事例発表：戸沢村教育委員会 学社融合主事 野口勝幸 氏

全体指導：山形大学大学院 教授 江間史明 氏

・ 置賜地区：10/18 置賜総合支庁西庁舎講堂 参加者43名

事例発表：川西町立小松小学校 教諭 平健司 氏

事例発表：小国町教育委員会

地域コーディネーター兼CSディレクター 松井知恵氏

学校教育専門員兼指導主事 加藤郁子 氏

主事 齋藤香穂 氏

講評・講話：山形大学准教授 安藤耕己 氏

11/17 高島町生涯学習館 参加者26名

講話：栃木県教育委員会事務局生涯学習課長補佐

国立教育政策研究所フェロー 井上昌幸 氏

・ 庄内地区：11/25 余目第二公民館 参加者38名

講演：福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

特任准教授 天野和彦 氏

2/16 予定 庄内総合支庁分庁舎

③ 各施策を一体的・総合的に推進するための統合補助金制度

ア 予算の範囲内で、各事業の補助金を弾力的に運用可能

- (2) 学校支援地域本部事業（再掲）
- (3) 放課後子どもプラン推進事業（再掲）

(4) 学びと協働による地域コミュニティ活性化事業

① 社会教育関係職員講座

ア 社会教育関係職員初任者講座

・対象：市町村教育委員会社会教育関係職員 公民館関係職員等 経験2年未満

【1回目】 6/9（木）県生涯学習センター（遊学館）＜参加者84名＞

講師：山形大学地域教育文化学部准教授 安藤耕己氏
山形県社会教育委員 金澤和子氏 他

【2回目】 11/8（火）県生涯学習センター（遊学館）＜参加者64名＞

講師：東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科講師 丸山傑氏

② 社会教育関係職員スキル別講座

【ファシリテート技術研修】

・庄内 11/16（水）余目第二公民館 ＜参加者17名＞

・最上 11/17（木）最上総合支庁 ＜参加者20名＞

・置賜 12/1（木）置賜総合支庁西庁舎 ＜参加者27名＞

・村山 11/30（水）遊学館 ＜参加者14名＞

「参加者の満足度と意欲がアップするカミシバイ方式グループワークを学ぼう！」

講師：松田道雄氏（尚絅学院大学エクステーションセンター特任教授）

② 市町村研修等支援事業（出前講座）（山形県社会教育連絡協議会事業）

期日・場所：各市町村の計画による

(5) P T A指導者研修事業（社会教育研修事業）

県内のP T A活動に携わるリーダーが一堂に会し、P T Aの運営や活動に関する先進事例の発表をもとに研修を深め、これからのP T A活動の活性化と、家庭・学校・地域を結ぶP T Aのリーダーとしての資質の向上を図った。

① 優良P T A表彰事業

ア 優良P T A県教育委員会表彰選考委員会 平成27年5月23日（月）開催

イ 優良P T A県教育委員会表彰（10団体）

・東根市立第一中学校P T A

・東根市立神町小学校P T A

・寒河江市立柴橋小学校P T A

・朝日町立大谷小学校父母と教師の会

・新庄市立萩野学園P T A

・金山町立金山小学校父母と教師の会

・米沢市立第二中学校教育会

・川西町立高山小学校P T A

・遊佐町立遊佐小学校P T A

・酒田市立南平田小学校P T A

・山形県立酒田光陵高等学校P T A

・山形市立商業高等学校P T A

ウ 優良P T A文部科学大臣表彰

＜高等学校関係＞山形県立酒田光陵高等学校P T A

＜小・中学校関係＞東根市立第一中学校P T A、・遊佐町立遊佐小学校P T A

② P T A指導者研修会

ア 期日：平成28年11月12日（土）やまがた教育の日

イ 会場：県生涯学習センター「遊学館」

ウ 「子どもの生活リズム向上山形県フォーラム」と同時開催（再掲）

参加対象：子どもを持つ親、学校関係者等243名

内容：講演会「常識を破れば子どもは伸びる～生活や学習習慣から伸びる

子どもの姿～」
 講師 陰山英男 氏（立命館大学教授）
 事例発表（優良PTA文部科学大臣表彰3団体）
 パネル展（優良PTA県教育委員会表彰12団体）

- ③ PTA資料「これからのPTA46」の作成
 ア 優良団体実践事例等の編集：600部 県内各学校等への配布（2月中）

IV 「いのち、学び、地域」をつなぐ県民の主体的な学習活動の機会や環境の充実を図る

1 社会教育主事養成事業

(1) 東北大学社会教育主事講習

- ◇日 程：6/13(月)～6/14(火) 於：県青年の家
 7/4(月)～7/9(土) 於：磐青
 7/25(月)～8/10(水) 於：東北大
 ア 県内研修会では、主に演習テーマの設定に時間を費やした。
 イ 東北大では、すべての班による演習発表会を開催

◇受講者：14名（教職員10名 市町村職員4名）

	村山	最上	置賜	庄内	計
小学校	2	1	2	1	6
中学校	2	0	0	0	2
高・特支	0	0	1	0	1
県行政	0	0	0	1	1
市町行政	2	2	0	0	4

◇受講者数の推移

年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
人数	34	32	30	32	25	24	19	20	21	19	19	19	15
年度	27	28											
人数	15	14											

(2) 国立教育政策研究所

- ・社会教育主事講習Aについては受講者なし。社会教育主事講習Bについては2名受講。
 （内、県費派遣1名、市町村費受講1名）

(3) 社会教育主事有資格教員研修

- ①期日・場所：各教育事務所
 ・村山：11/25（金） ・最上：11/22（火）
 ・置賜：11/17（木） ・庄内：11/25（金）

(4) 社会教育・生涯学習事業コーディネート研修会

- ①日 時：平成 29 年 2 月 10 日（金） 10：00～12：00
②場 所：県庁 1001 会議室
③講 師：東京大学 大学院教育学研究科 教授 牧野 篤 氏

2 視聴覚教育推進事業

視聴覚教材の自作化を奨励し、視聴覚教育活動の振興を図るため、公益財団法人山形県生涯学習文化財団と共催で自作視聴覚教材コンクールを実施した。

(1) 第 65 回自作視聴覚教材コンクール

審査会に出品された作品を学校教育部門、児童生徒作品部門、社会教育部門の 3 部門で審査を行った。

① 第 65 回コンクールについて

- ア 実施要項発送 5 月 2 日 ・受付期間：12 月 9 日（金）～12 月 19 日（月）
イ 中央審査会：非公開 平成 29 年 1 月 20 日（金）遊学館
ウ 発表会・表彰式：平成 29 年 2 月 11 日（土）遊学館
エ 出品数：計 28 本
・学校教育部門 6 本（ビデオ 2 本、紙しばい 4 本）
・社会教育部門 16 本（ビデオ 5 本、紙しばい 11 本）
・児童生徒作品部門 6 本（ビデオ 3 本、紙しばい 1 本、コンピュータソフト 2 本）
オ 入賞数：最優秀賞 5（ビデオ 3 本、紙しばい 2 本）優秀賞 11 本、入選 12 本
カ 発表会・表彰式では最優秀作品の発表と優秀・入選作品の展示を行った。

(2) 平成 28 年度全国自作視聴覚教材コンクール（昨年度 出品 25 優秀賞 1）

山形県：20 作品 出品

入 賞：文部科学大臣賞最（優秀賞）【社会教育部門】

「中津川菅笠作り」＜映像＞飯豊町教育委員会
優秀賞【社会教育部門】

「白鷹板締小餅」＜映像＞羽鳥允祥

入選【小学校部門】 1 作品 【中学校部門】 1 作品
【社会教育部門】 2 作品

(3) 視聴覚教材の普及

郷土に根ざした作品の複製を通して地域文化の 再認識、継承、啓発に努める。

○ 全国コンクール優秀作品の複製・活用

○ 全国及び県コンクール出品作品の「ふるさと塾アーカイブス」への掲載

(4) 視聴覚教育功労者表彰

○ 文部科学大臣表彰：大沼廣志 氏

○ 各地功労者表彰：羽鳥允祥 氏

○ 全国視聴覚教育連盟：推薦なし

(5) 社会教育関係団体の支援

社会教育関係団体事業費補助金

社会教育関係団体の健全な運営と活動の活性化を図るため、次の団体が実施する事業について助成した。

○山形県婦人連盟（婦人団体事業費補助金：84 千円）

- 山形県PTA連合会（PTA連合会事業費補助金：46千円）
- 山形県高等学校PTA連合会（PTA連合会事業費補助金：27千円）
- 山形県特別支援学校PTA連合会（PTA連合会事業費補助金：37千円）
- ボーイスカウト山形県連盟（ボーイスカウト事業費補助金：42千円）
- 山形県社会教育連絡協議会（山形県社会教育連絡協議会事業費補助金：110千円）

3 社会教育施設の環境整備

(1) 県立図書館の整備・充実

平成27年度に策定した「山形県立図書館活性化基本計画」に基づき、大規模改修に向けた基本設計・実施設計に着手した。

また、蔵書へのICタグの貼付は3ヶ年計画の2年目として実施した。

(2) 県立博物館の整備・充実

常設展示のほか、プライム企画展「よみがえる^{いにしえ}古の大寺院「寶幢寺」至宝展」などを開催し、展示内容の充実に努めた。

平成28年4月に文化庁から認定を受けた「日本遺産」に関する認定記念企画展開催や、10月に開催された技能五輪大会期間中の無料開館の実施など、文化学術拠点及び観光拠点としての博物館機能の強化を図り、魅力ある博物館活動の充実に努めた。

(3) 青少年教育施設の整備・充実

野外活動の際の利用者の安全確保を図るため、朝日少年自然の家のAED更新や海浜自然の家におけるドクガ対策の防除・除草、飯豊少年自然の家での松くい虫対策伐倒駆除、ナラ枯れ対策防除を行った。また、金峰少年自然の家の天体望遠鏡の保守点検整備や神室少年自然の家の川遊び体験活動用具の更新など利用者が安全で快適に利用できるように施設の整備・充実に努めた。

4 社会教育推進体制の充実

(1) 県社会教育委員の会議（15名）

あわせて3回の会議を行い、社会教育の推進と生涯学習の振興のあり方や施策について意見をいただく機会を得た。特に、子どもの生活習慣改善に向けた「家庭教育支援」に関する新規事業である「家庭学習習慣づくり親子体験塾」についての貴重な御意見を頂戴し、事業実施に反映することができた。

また、平成29年度事業の策定に向け、子どもの生活リズムの向上については、その効果と必要性が慎重に議論され、対象学年や実施場所等について、熱心に議論され、貴重なご意見を頂戴した。

更に、第5次山形県生涯学習振興計画策定に向け、178回と179回の社会教育委員の会議は、生涯学習振興会議と兼ねて行い、貴重な御意見を頂戴した。

加えて、社会教育委員の中から、小田島委員、齋藤委員、安藤委員に第5次山形県生涯学習振興計画策定部会の委員を委嘱し、社会教育委員の会議特別委員会として、準備会をあわせ、4回実施した。

なお、第179回社会教育委員の会議は、生涯学習検討委員会（第4次山形県生涯学習振興計画の進捗状況の点検・評価）と兼ねて行った。

- 第177回社会教育委員の会議 5月26日（木）13：30～15：30
山形県生涯学習センター特別会議室 委員13名参加

- 第178回社会教育委員の会議 9月 8日（木）13：30～15：30

県庁講堂 委員12名参加
兼ねて、第1回生涯学習振興会議（第5次山形県生涯学習振興計画の検討）を実施

- 第179回社会教育委員の会議 2月17日（金）13:30～15:30
山形県生涯学習センター特別会議室 委員13名参加
兼ねて、平成28年度生涯学習検討委員会（第4次山形県生涯学習振興計画の進捗状況の点検・評価）、第2回生涯学習振興会議（第5次山形県生涯学習振興計画の検討）実施
- 社会教育委員の会議 特別委員会（4回）
 - ① 第1回特別委員会 5月26日（木）15:45～17:00
山形県生涯学習センター会議室
第5次山形県生涯学習振興計画策定準備会として実施
 - ② 第2回特別委員会 9月8日（木）15:45～17:00
山形県庁分室1
第5次山形県生涯学習振興計画策定 第1回作業部会として実施
 - ③ 第3回特別委員会 12月22日（木）13:00～15:00
山形県庁分室1
第5次山形県生涯学習振興計画策定 第2回作業部会として実施
 - ④ 第4回特別委員会 2月17日（金）10:00～12:00
山形県生涯学習センター会議室
第5次山形県生涯学習振興計画策定 第3回作業部会として実施

5 生涯学習推進体制

(1) 生涯学習施設の整備・充実（生涯学習センター事業）

生涯学習振興の中核施設である山形県生涯学習センター（「遊学館」及びセンター分館山形県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」）の効果的かつ効率的な管理運営と、機能維持及び安全確保のため、設備等の更新及び修繕を行った。

- ① 県生涯学習センターの管理運営
山形県生涯学習センターについて、指定管理者（公益財団法人山形県生涯学習文化財団）による施設の適切かつ効率的な維持管理運営により、利用者へのサービス向上を図った。
- ② 県生涯学習センターの施設整備
生涯学習センターの機能維持と安全確保のため、設備の修繕を行った。
- ③ 学習情報の収集提供
県民の主体的な学習活動を支援するため、様々な方法により広域的かつ総合的な学習情報を提供した。
 - ア 学習情報収集・提供事業
再構築した山形県生涯学習情報提供システム、ホームページにより、県民ニーズにあわせた新鮮で確実な各種情報を提供するとともに、学習相談を実施した。
アクセス件数 42,358 件、学習相談 28 件（いずれも平成 29 年 1 月末時点）
 - イ 長寿社会情報ネットワーク推進事業
明るい長寿社会づくり連絡協議会関連事業を推進し、高齢者の生きがい健康づくりや社会参画に関する情報の提供を行った。
 - ウ 「ふるさと塾」推進事業
「ふるさと塾」に関する映像等を記録、インターネットを通じて公開し、ふるさと塾活動の支援基盤の構築を図った。（平成 29 年 1 月末時点公開数：233 件）
- ④ 生涯学習活動支援者の育成
地域における主体的な学習活動を推進するため、各種人材育成事業を実施した。

- ア 生涯学習関係職員研修事業（6月・11月・12月）
市町村生涯学習・社会教育関係職員の資質向上のため、研修を行った。
 - イ 高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成事業（7月～10月、11月、3月）
高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、高齢者の生きがいづくり・生活支援活動に参加する担い手の育成を行った。（入門講座：県内4ヶ所、実践講座：県内2ヶ所【5回シリーズ】、生活支援コーディネーター等スキルアップ研修会：県内1ヶ所2日間、フォローアップ研修：県内1ヶ所）
 - ウ シニア地域実践活動支援事業
県内9地区の「山形シルバー観光ガイド」の養成及び活動支援を行った。
- ⑤県民主体の学習機会の提供
県民の幅広い学習ニーズに応えるため、山形学講座等の学習機会を提供した。
- ア 「山形学」推進事業（6月～11月）
山形の特徴や特性を多面的に捉え、山形に生きることの意義や地域づくりを考えるため、山形学フォーラム、山形学講座（5回）を開催し、学習成果をまとめた「遊学館ブックス」を発刊した。
また、県内外で地域学を実践している民間団体、高等教育機関、行政機関などが集い、地域等に関する情報を交換するための地域学交流集会を開催した。
 - イ 生涯学習活動普及促進事業
生涯学習センター事業の内容や成果の報告、県内の活動事例の紹介などを通して、県民の生涯学習への理解が深まるよう広報紙を発行した。（5月・9月・2月、各3,500部）
 - ウ 「山形学」地域連携講座支援事業（助成：10団体）
山形学の振興を図るとともに、地域に根ざした生涯学習を推進するため、市町村や高等教育機関等が実施する地域学に関する体系的な講座に対して支援を行った。
 - エ 生涯学習活動支援事業（助成：18団体）
高等学校の文化学習活動、市町村における生涯学習活動など、主体的に生涯学習に取り組む団体の活動を支援した。
 - オ 生涯学習活動実践団体との連携事業
自主的で創造的な生涯学習活動を実践している団体等と連携し、作家トークショーを行った。
- ⑥その他生涯学習推進に関する業務
- ア 「生涯学習事業の推進に関する懇話会」の開催
生涯学習センターの事業運営等について、県民各層から広く意見を聞き、これを生涯学習関連事業等の推進に反映させるため「懇話会」を設置し、意見交換を行った。（8月、11月）

（2）生涯学習推進委員会

- 第1回委員会 5月25日（水） 県庁
山形県の生涯学習の推進を図るため、平成25年3月に、「第4次山形県生涯学習振興計画」を策定し、生涯学習に関する施策の総合的な企画及び調整、その推進を図るため、関係所属により構成する生涯学習推進委員会を設置している。
進行管理を通じて関係部局等が連携し、総合的に施策が展開されるよう努めるとともに、県ホームページを活用した夏休み前の各部局の生涯学習関係事業の紹介等を行った。また、具体的な他部局との連携状況を調査し、来年度以降も部局間の横の連携・協働の推進に向け情報提供を行った。

（3）第5次山形県生涯学習振興計画策定に向けた取り組み

- 「第4次山形県生涯学習振興計画」の実施期間が平成29年度にまでであることをう

け、「第5次山形県生涯学習振興計画」の平成30年3月の策定に向け、各位委員会等を運営した。

①《生涯学習振興会議》

ア 目的 「第5次山形県生涯学習振興計画(案)」への意見・提言を行う会議。

イ 委員 県社会教育委員が兼ねる

ウ 日程 (H28年度 - 2回、H29年度 - 2回を予定)

・ 第1回生涯学習振興会議 平成28年9月8日(木)

(※第178回社会教育委員の会議と兼ねて実施)

・ 第2回生涯学習振興会議 平成29年2月17日(金)

(※第179回社会教育委員の会議と兼ねて実施)

②《第5次山形県生涯学習振興計画策定委員会》

ア 目的 「第5次山形県生涯学習振興計画」の策定を行う。

イ 委員 庁内関係部局各課長

ウ 日程 (H29年度 - 3回を予定)

③《第5次山形県生涯学習振興計画策定作業部会》

ア 目的

「第5次山形県生涯学習振興計画」の策定に向けた調査・研究、原案策定を行う。

イ 委員 社会教育委員3名(小田島委員・齋藤委員・安藤委員)

各教育事務所社会教育課長4名

県生涯学習センター学習振興部長

ウ 日程 (H28年度 - 準備会含め4回、H29年度 - 3回を予定)

・ 第5次山形県生涯学習振興計画策定作業部会 準備会

平成28年5月26日(木) 15:45~17:00 県生涯学習センター会議室

(※社会教育委員の会議第1回特別委員会として実施)

・ 第1回第5次山形県生涯学習振興計画策定作業部会

平成28年9月8日(木) 15:45~17:00 県庁分室1

(※社会教育委員の会議第2回特別委員会として実施)

・ 第2回第5次山形県生涯学習振興計画策定作業部会

平成28年12月22日(木) 13:00~15:00

(※社会教育委員の会議第3回特別委員会として実施)

・ 第3回第5次山形県生涯学習振興計画策定作業部会

平成29年2月17日(金) 10:00~12:00

(※社会教育委員の会議第4回特別委員会として実施)

V その他

1 諸会議

(1) 教育事務所等連絡会議

①教育事務所社会教育課長会議(年間3回開催) ①4/6~7 ②9/16 ③2/3

②教育事務所社会教育主事会議(年間4回開催) ①4/11 ②4/28 ③9/2 ④2/10

(2) 社会教育施設連絡会議

①県社会教育施設長会議(年間3回開催) ①4/6~7 ②10/18 ③2/8

②青少年教育施設研修担当者会議(年間3回開催) ①4/11 ②10/26 ③2/14

2 平成28年度文部科学大臣表彰

(1) 優良公民館

東根市長瀬公民館

(2) 優良PTA表彰

東根市立第一中学校 P T A
遊佐町立遊佐小学校 P T A
山形県立酒田光陵高等学校 P T A

(3) **社会教育功労者表彰**

鈴木 正司 氏 (尾花沢市)

(4) **視聴覚教育功労者表彰**

大沼 廣志 氏 (村山市)

(5) **子ども読書活動優秀実践図書館・団体**

【学 校】 寒河江市立寒河江中部小学校

舟形町立舟形小学校

山形県立山辺高等学校

【団 体】 ひまわりサークル (河北町)

(6) **優れた「地域による学校支援活動」表彰**

「おぐに放課後子ども教室『めっちゃ』」小国小学校放課後子ども教室 (小国町)

「高崎地区アフタースクール」高崎小学校放課後子ども教室 (東根市)